

MINATO COLUMN 1

2021年2月発行

テーマ

早めの外科コンサルが功を奏す！

膿胸

長崎みなとメディカルセンター 呼吸器外科 平原正隆

概要

膿胸とは胸腔内に貯留した液体が膿性または膿様性になったものであり、発症後3か月以内の膿胸を急性期、3か月以上経過したものを慢性期と分類します。さらに急性膿胸は滲出期、線維素膿性期と分類され、慢性期である器質化期へ移行していきます。糖尿病患者さんやステロイド長期使用中の患者さんに起こりやすいのですが、最近では**嚔下反射が低下した高齢者の誤嚔性肺炎に続発する膿胸が増加**しています。

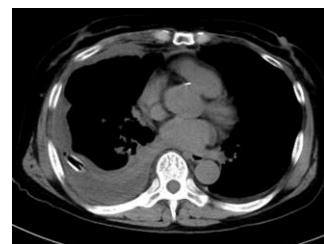
診断

急性膿胸の多くは肺炎、肺化膿症などの肺内感染症から続発して発症するものです。これらの**肺内感染症に随伴して滲出性胸膜炎のみ認める時期は胸腔内は無菌性**のことが多く（厳密には肺炎随伴性胸水として膿胸とは区別されます）、線維性隔壁の形成や胸膜肥厚を認めるようになると有菌性の胸膜炎となっていきます。また、膿胸を疑う胸水貯留がある場合は抗菌薬投与前に胸水の検体採取を行います。

治療①ドレナージ治療

膿胸治療の原則は**膿瘍ドレナージ**（太めの管を胸腔内へ挿入し、膿を体外に排出すること）です。膿瘍腔には血流が無いため、抗菌薬投与のみでは十分な治療効果が望めません。血の届かない腔には抗菌薬は届かないからです。また、ドレナージのその他のメリットとしては、**縮んだ肺の膨張を促す**といったものもあります。長期間縮んでしまった肺が再度膨張するには長い時間がかかり、その間死腔になった箇所は膿瘍再燃のリスクが高くなってしまいます。外から陰圧をかけることで肺の膨張を促します。従って、菌が確認されていない滲出期であっても胸腔ドレナージは必要な処置と言えます。**早期から持続ドレナージを施行することで在院日数の短縮が期待**できます。

胸腔ドレーンは1本で済むこともありますが、膿瘍腔が多房化している場合は複数本留置することもあります。多房化しているかどうかはCTを施行するとわかりやすく、膿瘍がいくつかの部屋に分かれています。ただ、多房化している膿瘍の部屋は多数に分かれ、複数本のドレーンでも足りない場合があります。多房化膿胸であれば手術を行い治療することが多くなっています。



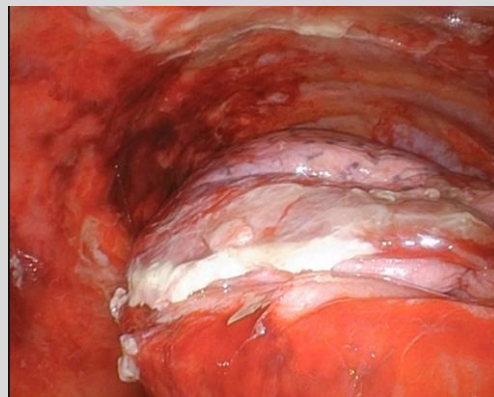
多房化した膿瘍腔（CT画像）

治療②手術

手術では、多房化している膿胸腔の壁を壊し一つの部屋にする**膿胸腔搔把術**、肺の表面や壁側胸膜の分厚い膜を切除して肺の膨張を促す**醸膿胸膜、胸膜肺底切除術**を行います。いずれの術式も胸腔鏡下に2ないし3か所の孔を肋間に設けて手術を行います。



術中所見



胸腔鏡下膿胸腔搔把術後の胸腔内所見

術後は概ね1～2週間程度胸腔ドレーンを留置し、CRPが陰性化するまでの2～4週間程度抗菌薬の投与を行います。抗菌薬を終了しても炎症所見の再燃がないことが確認できたら退院となります。退院後は、当院の外来で数回の経過観察を行います。

当院では、膿胸に対する手術を最近5年間で35例施行しましたが、全例軽快退院されています。

かかりつけ医の皆様へ

実臨床で悩ましいのは、どのタイミングで外科へコンサルトすべきか？ではないでしょうか。もちろんドレーン1本+抗菌薬で改善される症例も多数あります。しかし**多房化した膿胸や保存的加療で反応が乏しいと思われた時点で、すぐに当院呼吸器外科へご紹介ください。**また、膿胸治療に慣れていないご施設であれば、膿胸と疑われた時点でご紹介ください。早期に外科治療介入することで、早い回復が期待できる症例もあります。また、早期であればあるほど手術も平易にできることが多く、患者さんの負担も軽くて済みます。

最近では誤嚥性肺炎の患者さんが多く、膿胸を発症する患者さんも多くなってきた印象があります。それに伴い、外科治療が必要な膿胸症例も多くなることが予想されます。当科が長崎市内の医療関係者の皆様のご負担を軽減できれば幸いです。



ポイント

- ◆ 滲出性胸膜炎のみ認める時期だと細菌培養陰性は意外と多い（肺炎随伴性胸水）
- ◆ 膿胸を疑うときは抗菌薬投与前に検体を採取（ドレーン留置や試験穿刺等）
- ◆ 早期から持続ドレナージを施行すると在院日数の短縮が見込める
- ◆ 手術はほぼ胸腔鏡下で実施でき、術後2週間～4週間で退院が可能



● 医師紹介

呼吸器外科 医長 平原 正隆

特に専門とする領域：呼吸器外科、消化器外科

● 外来予約は患者総合支援センターへお問い合わせください。

TEL：095-822-3251（代表）

FAX：095-821-1116（平日8:15～17:00）

呼吸器外科の紹介動画を
作成しました。
ぜひご覧ください。

